

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
URL http://yokohama-youth.jp/
Eメール soumu@yokohama-youth.jp

報告

楽しみながら、青少年育成を 第57回 爆笑!濱っ子寄席

第57回を迎えた「爆笑!濱っ子寄席」。今年も多くのお客様にご来場いただき、ありがとうございました。

濱っ子寄席は、「楽しみながら、青少年育成を」合言葉に、企業や団体など、多くの皆さまのご支援により実施してきた事業で、収益金や当日集まった寄附金は、市内の青少年育成活動に充てています。

- ◆出演者/柳家さん光、桂雀々、コント山口君と竹田君、柳家さん喬、三遊亭歌之介、柳家権太楼(出演順)
- ◆協賛企業・団体/58社(団体) (10月20日 関内ホール)



■濱っ子寄席が始まったのは…

多くの皆さんが驚かれるのは、「57」という回数ではないでしょうか。

57年前から始まった…? いえ、記念すべき第1回目は昭和43年、今から49年前に遡ります。横浜には寄席がなく生で落語を聞く機会が少なかったため、故・6代目古今亭志ん馬師匠と親交のあった、当時の横浜青年会議所理事長・北島崇弘氏が企画し横浜青年会議所の社会事業として始まった歴史のある事業です。

当時から「楽しみながら、青少年育成」をコンセプトに、主催の横浜青年会議所と、趣旨をご理解いただいた出演者の皆さま方のお力により実施してきた濱っ子寄席。第22回(昭和57年)からよこはまユースが引き継いだ後も、コンセプトはそのままに、多くの方のご支援により継続して開催しています。

■心強いサポーター

このような興行に不慣れな私たち職員をサポートいただいているのが「濱っ子寄席実行委員会」の皆さんです。横浜青年会議所OBの方々により組織され、企画から広報、協賛金集め、チケット販売、当日の運営までを担っていただいています。実行委員会のアイデアで実現した一つが、昨年からはまった「募金にご協力いただいた方への手ぬぐいプレゼント」です。権太楼師匠・歌之介師匠からご提供いただいた手ぬぐいは大人気で、今回も募金活動開始と同時に終了しました。

普段は、時間や機会がなく活動ができない方も、寄席をお楽しみいただくことで、横浜の青少年育成活動に参加することができました。

来年も皆様のご来場をお待ち申し上げております。



Thank you for your support.

ありがとうございました!

平成29年7月1日から平成29年10月31日まで

- ◆ユース賛助会費 101件 353,000円
- ◆一般寄附金 169件 169,186円

寄附金協力者(順不同、敬称略)

【団体名】 旭区子ども会育成連絡協議会/横浜市立井土ヶ谷小学校PTA/川本工業(株)協栄会/神奈川区青少年指導員協議会/京浜サービス(株)/ (株)ジェイコムイースト横浜テレビ/柴町内会/ (株)杉浦商事/第一カーボン株式会社/ (株)アース/仲手原自治会/日之出(株)/ブックオフオンライン/ボイスカウト横浜市連合会/三ツ境幼稚園/NPO法人横浜音楽協会/横浜ランパート協会/(株)横浜レンタル/(公財)横浜YMCA/爆笑!濱っ子寄席(株)杉浦商事/神奈川県鉄協同組合/横浜市退職小学校長会

【個人名】 浅野俊博/芦立正子/荒井清/荒井総平/荒巻喜代子/有路由紀子/板垣恵明/市原政喜/犬塚善一郎/榎本文夫/大石俊雄/大久保則子/笠原光子/源生忠純/佐藤克徳/澤出吉秀/嶋田美保/清水桂子/鈴木広頭/鈴木千代江/須藤健三/関野修一/瀧波磨理江/竹野内宏/田島一郎/田邊義勝/田野井伸泰/田上孝幸/中島尚樹/中村輝次/成田憲一/沼尾実/野田義男/野村啓子/橋本康正/橋本義昭/濱倉公子/早川雅子/藤島栄子/松井祐次郎/三池明/三橋赫夫/安田幸世/若木一美

青少年育成センターが一時移転します

関内ホール改修工事期間中、下記の場所に移転します。ご迷惑をおかけしますが、引き続きご利用お待ちしております。

【移転期間】

平成29年12月1日(金)~平成30年9月30日(日)

【移転先】

横浜市中区住吉町2-22 松栄関内ビル7階

※電話・FAX番号は変更ありません。

【移転機能】

第1・第2研修室、ミーティングルーム

- ◆お問い合わせ tel. 045-664-6251



会員の鈴木広頭様が、先日、ずっしりと重たい貯金箱をお持ちくださいました! 長年、コツコツと貯めていただいたそうです。ご協力いただきありがとうございます。皆さまからお預かりしました寄附金は、横浜の青少年のために大切に使います。



よこはまユース（本部事業）

道志村の児童が、横浜を“体験”しました！

「道志児童よこはま体験プログラム」（10月5～6日）

山梨県道志村の児童が横浜での体験を通じて相互理解を深める、毎年恒例のプログラムです。今年は小学5年生17人が参加し、道志川の水が集まる川井浄水場をはじめ、遊覧船の乗船や自動車工場の見学、中華街での食事など、たくさんの思い出を作ることができました。「道志村に帰ってからも、横浜に繋がる水のことを考えてみたい」という感想が寄せられました。



横浜市野島青少年研修センター

「のじまチャレンジキャンプ」（9月30日～10月1日）

「やったことないと、なんでもチャレンジ！」を合言葉に、子どもたちが様々な野外での体験活動に挑戦しました。

カヌー体験やカートドッグ作りなどの定番プログラムのほか、サンドアート（砂像作り）体験など、盛りだくさんの充実した2日間となりました。子どもたちからは「カートドッグを家でも作りたい！」「サンドアートは思ったより難しかったが、みんなでチャレンジしたから楽しかった」という声が聞かれました。



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

青少年社会参加プログラム

「中高生夏期ボランティア体験」



中高生が夏休みを利用して、中区・西区を中心にボランティア体験を行いました。「地域活動の親子ふれあい会」や「本町小学校キッズクラブ」「にしとも広場」など7か所で活動し、参加者の多くが達成感や充実感いっぱい夏の夏になりました。

中高生が夏休みを利用して、中区・西区を中心にボランティア体験を行いました。「地域活動の親子ふれあい会」や「本町小学校キッズクラブ」「にしとも広場」など7か所で活動し、参加者の多くが達成感や充実感いっぱい夏の夏になりました。

横浜市青少年育成センター

「きずな★夏祭り」

（8月17～18日）

横浜市教育委員会主催の「こどもアドベンチャー2017」の一環として、身近でありながら子どもの目に触れることの少ない町内会の仕事を、夏祭りを再現した体験ブースで学ぼうという趣旨の体験型アトラクションを実施しました。今年は2日間で延べ823人の来場者が、缶バッジづくりやごみ分別ゲームなどを楽しみました。



放課後キッズクラブ

ヨット乗船体験 — 寺尾小学校放課後キッズクラブ

（9月30日）

一般社団法人 横浜ヨット協会の皆さんから根岸のヨットハーバーにご招待いただきました。

ヨットのことやロープの結び方を教えていただいた後、いよいよヨットで東京湾へ！帆を張るのを手伝ったり、ヨットの先端に座わって足を出したり寝そべったりと子どもたちは大喜びでした。



野球教室 — 長津田小学校放課後キッズクラブ



毎月1回、地域の野球クラブコーチのご指導により、野球の基礎を学び、楽しさを知るプログラムです。ティースタンドを使い、球を固定して打つことができ

るので、初心者でも簡単に野球を楽しむことができます。ティースタンドを使う以外は、普通の野球ルールで試合を行います。年々参加する子どもが増えており、野球への関心が高まっています。

●将棋の起源● 最年少プロ棋士の活躍で将棋がちょっとしたブームとなった。将棋の起源は古代インドの「チャトランガ」と呼ばれる双六の一種と言われ、日本には奈良時代の遣唐使であった吉備真備が中国から持ち帰ったという説がある。現存する最古の将棋駒は奈良の興福寺から出土したものとされ、そのルーツは謎に包まれている。（畔）